

かながわの交通

2024
2月号

交通安全年間スローガン受賞作品（内閣府特命担当大臣賞）

一般部門B：歩行者・自転車利用者に呼びかけるもの

車だけ？ 交通ルールは皆のもの



神奈川県警察ホワイトエンジェルス

かながわバイクリカレントスクール・セーフティライダーズスクール・ベーシックライディングレッスン
二輪車安全運転講習・親切丁寧に指導します。



道路横断には気をつけて！

高齢歩行者の事故が増えています。

油断大敵！

運転者も歩行者もルールを守って
交通事故防止に努めましょう！

歩行者
事故
多発！

◎県内の交通事故発生概況（令和6年1月末現在）

◎県人口・運転免許人口

年別	区分	発生件数	死者数	負傷者数
令和6年		1,689	7	1,947
令和5年		1,632	11	1,921
増減数		+57	-4	+26
増減率		+3.5%	-36.4%	+1.4%

	総数	男	女
県人口	9,225,091	4,571,614	4,653,477
免許人口	5,673,710	3,211,690	2,462,020
割合	1.6人に1人	1.4人に1人	1.8人に1人



ホームページ

（県人口は令和6年1月1日、免許人口は令和5年12月末現在）

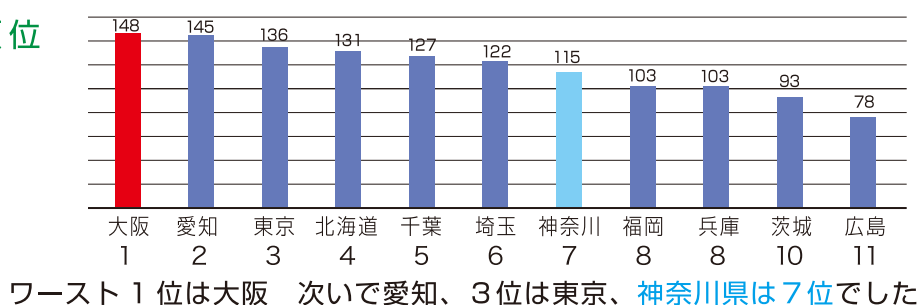
神奈川県内の交通事故発生状況と交通死亡事故の特徴 (令和5年中)

交通事故発生状況

	件 数	死者数	負傷者数
年累計	21,870	115	25,644
増減数	+772	+2	+1,262

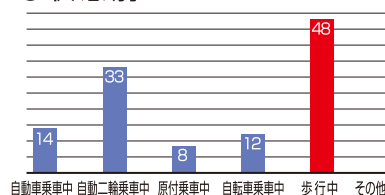
- ◎ 昨年の人身交通事故は、発生件数、死者数、負傷者数いずれも前年に比べ増加しました。
- ◎ 死者数については、統計の残る昭和23年以降、過去2番目に少ない115人（前年比2人増）
- ◎ 死者数の年代別では65歳以上が49人（前年比5人増）で約4割を占めました。

●全国死者順位



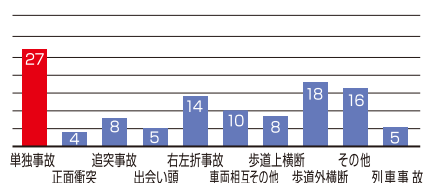
●県内事故死者の特徴(死亡者115人中)

●状態別



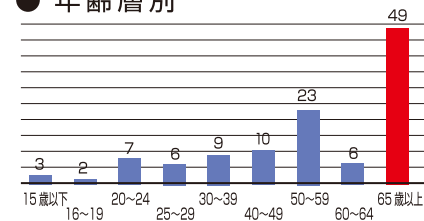
歩行者・自動二輪乗車中の死亡者が多い！

●類型別



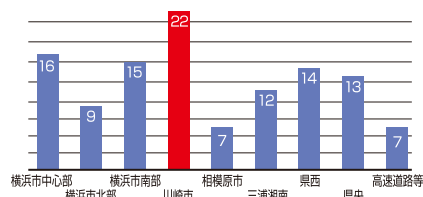
単独事故・道路横断に注意！

●年齢層別



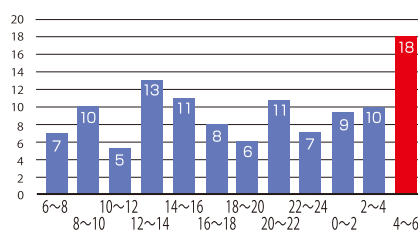
50歳代、65歳以上の高齢者は注意！

●地域別



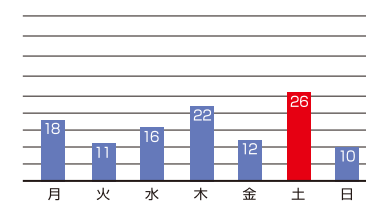
横浜市・川崎市での死亡者が多い！

●時間帯別



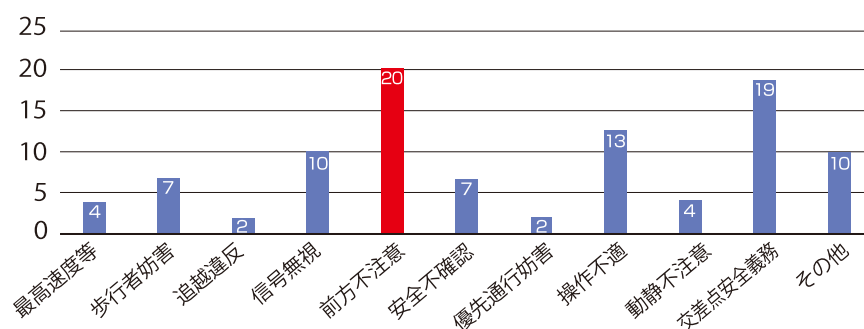
早朝の時間帯に注意！

●曜日別



週末に注意！

死亡事故、原付以上の運転手の要因(98件)



交差点では、前をよく見て！確実な安全確認！信号を守りハンドル・ブレーキ操作は確実に！

警察署別交通事故発生状況
(1～12月)

区 署別	件 数				死 者 数				負 傷 者 数			
	令和5年	令和4年	増減数	増減率	令和5年	令和4年	増減数	増減率	令和5年	令和4年	増減数	増減率
加賀町	120	83	+37	+44.6	0	0	±0	***	145	99	+46	+46.5
山手	134	101	+33	+32.7	2	0	+2	***	156	112	+44	+39.3
磯子	290	311	-21	-6.8	6	1	+5	+500.0	344	354	-10	-2.8
金沢	537	506	+31	+6.1	4	2	+2	+100.0	626	574	+52	+9.1
南	391	328	+63	+19.2	1	2	-1	-50.0	423	361	+62	+17.2
伊勢佐木	198	184	+14	+7.6	1	1	±0	±0.0	230	200	+30	+15.0
戸部	261	255	+6	+2.4	2	3	-1	-33.3	294	285	+9	+3.2
神奈川	328	363	-35	-9.6	2	3	-1	-33.3	382	400	-18	-4.5
鶴見	626	669	-43	-6.4	4	4	±0	±0.0	712	745	-33	-4.4
保土ヶ谷	345	454	-109	-24.0	4	0	+4	***	398	526	-128	-24.3
旭	482	528	-46	-8.7	1	2	-1	-50.0	529	594	-65	-10.9
港南北	499	477	+22	+4.6	2	2	±0	±0.0	607	585	+22	+3.8
緑	657	512	+145	+28.3	0	2	-2	-100.0	768	559	+209	+37.4
青葉	446	371	+75	+20.2	2	5	-3	-60.0	500	416	+84	+20.2
都筑	600	543	+57	+10.5	0	1	-1	-100.0	707	625	+82	+13.1
戸塚	421	438	-17	-3.9	2	4	-2	-50.0	494	509	-15	-2.9
栄	540	514	+26	+5.1	2	4	-2	-50.0	624	571	+53	+9.3
泉	171	193	-22	-11.4	0	0	±0	***	211	238	-27	-11.3
瀬谷	326	272	+54	+19.9	0	0	±0	***	360	297	+63	+21.2
横浜水上	307	374	-67	-17.9	4	2	+2	+100.0	361	412	-51	-12.4
川崎	24	16	+8	+50.0	1	0	+1	***	38	21	+17	+81.0
川崎臨港	337	378	-41	-10.8	7	2	+5	+250.0	371	411	-40	-9.7
幸	222	195	+27	+13.8	2	1	+1	+100.0	266	214	+52	+24.3
中原	261	279	-18	-6.5	5	4	+1	+25.0	285	304	-19	-6.3
高津	333	274	+59	+21.5	2	1	+1	+100.0	361	311	+50	+16.1
宮前	453	407	+46	+11.3	2	2	±0	±0.0	514	465	+49	+10.5
多摩	378	356	+22	+6.2	1	4	-3	-75.0	438	402	+36	+9.0
麻生	419	373	+46	+12.3	1	3	-2	-66.7	484	429	+55	+12.8
横須賀	350	330	+20	+6.1	2	1	+1	+100.0	385	372	+13	+3.5
田浦	525	455	+70	+15.4	3	1	+2	+200.0	631	549	+82	+14.9
横須賀南	121	99	+22	+22.2	1	0	+1	***	132	110	+22	+20.0
三崎	484	499	-15	-3.0	0	3	-3	-100.0	566	562	+4	+0.7
葉山	135	119	+16	+13.4	2	1	+1	+100.0	167	137	+30	+21.9
逗子	110	108	+2	+1.9	0	0	±0	***	126	121	+5	+4.1
鎌倉	145	156	-11	-7.1	0	0	±0	***	176	169	+7	+4.1
大船	305	244	+61	+25.0	0	0	±0	***	365	289	+76	+26.3
藤沢	178	173	+5	+2.9	0	1	-1	-100.0	197	198	-1	-0.5
藤沢北	532	515	+17	+3.3	3	4	-1	-25.0	627	594	+33	+5.6
茅ヶ崎	623	582	+41	+7.0	2	2	±0	±0.0	709	675	+34	+5.0
平塚	624	538	+86	+16.0	1	2	-1	-50.0	713	608	+105	+17.3
大磯	811	878	-67	-7.6	1	4	-3	-75.0	942	1,001	-59	-5.9
小田原	132	98	+34	+34.7	1	2	-1	-50.0	157	106	+51	+48.1
松田	685	719	-34	-4.7	7	5	+2	+40.0	816	862	-46	-5.3
秦野	303	232	+71	+30.6	2	0	+2	***	364	279	+85	+30.5
伊勢原	265	311	-46	-14.8	2	1	+1	+100.0	303	370	-67	-18.1
厚木	228	217	+11	+5.1	1	0	+1	***	278	258	+20	+7.8
大和	727	733	-6	-0.8	4	7	-3	-42.9	834	843	-9	-1.1
座間	939	914	+25	+2.7	6	1	+5	+500.0	1,064	1,060	+4	+0.4
海老名	399	380	+19	+5.0	3	0	+3	***	444	429	+15	+3.5
相模原	448	432	+16	+3.7	0	0	±0	***	516	508	+8	+1.6
相模原南	721	676	+45	+6.7	5	4	+1	+25.0	836	733	+103	+14.1
相模原北	791	813	-22	-2.7	1	3	-2	-66.7	925	927	-2	-0.2
津久井	336	325	+11	+3.4	0	2	-2	-100.0	385	363	+22	+6.1
二交機	144	177	-33	-18.6	1	1	±0	±0.0	168	204	-36	-17.6
高速隊	42	38	+4	+10.5	0	0	±0	***	76	57	+19	+33.3
合計	661	583	+78	+13.4	7	13	-6	-46.2	1,114	979	+135	+13.8
合計	21,870	21,098	+772	+3.7	115	113	+2	+1.8	25,644	24,382	+1,262	+5.2

備考 増減率欄の「***」は、前年数値「0」を示す。

令和5年度「優良交通安全協会」の紹介

令和6年1月17日(水)、第64回交通安全国民運動中央大会本会議が文京シビックホールで開催され、「優良交通安全協会」として神奈川県から栄交通安全協会と相模原南交通安全協会が表彰されましたのでご紹介します。

● 栄交通安全協会

〔沿革等〕

栄交通安全協会は、昭和54年に戸塚南交通安全協会として発足し、昭和61年戸塚区からの分区による栄区誕生と同時に名称を栄交通安全協会と変更し、今年で45年になります。

〔組織と活動〕

当協会は会長以下10名で構成され、指導員11名、推進委員18名が所属し、事務局は事務長他2名の職員で業務を行っています。

主な活動として、栄警察署と連携し、各種キャンペーン、広報活動を行っています。年末の飲酒運転大根絶キャンペーンでは大根を、年始の交通安全ミニ風キャンペーンではミニ風をドライバーに配布し事故防止を呼びかけました。また、高齢者にも交通安全を呼び掛けております。

今後も、栄区内の事故が1件でも減るように、交通事故防止に努めてまいります。

(児矢野記)



● 相模原南交通安全協会

〔沿革等〕

相模原南交通安全協会は、相模原市内2カ所目の警察署である相模原南警察署が昭和49年8月に開設されると同時に相模原交通安全協会から発展的に分離され相模原南警察署に併せて同署敷地内に新設され早49年が経過しました。

〔組織と活動〕

当協会は、鈴木貴市(たつとし)会長を筆頭に理事14人監事2人と26の支部で構成され、交通指導員15名・地域交通安全活動推進委員21名のほか交通安全母の会・相模原南安全運転管理者会等多くの交通安全協力団体と連携して活動しているところです。

近年の交通事故の発生は、平坦な地形であることから自転車利用者が多く、自転車に関わる交通事故が、3割以上を占め、県下でも高い水準にあることから、自転車交通事故の減少を最重点として、将来を担う児童の交通安全意識高揚のため役員個人に担当小学校を指定し、通学路における交通指導や誘導を実施しています。また、交通安全日の毎月1日の(県民交通安全日)、15日の(高齢者交通安全日)、20日の(相模原市民交通安全日)には最大動員する等、交通安全啓発活動に力を注いでいます。特に、指定小学校の通用門において教職員と合同で登校児童に対して交通安全の声かけを行うとともに、交通事故防止は地域からとの発想で、下校時間帯に交通指導車で交通広報を実施し、児童のみならず地域居住者等に対する交通安全意識高揚に努めております。

各季の交通安全運動に当たっては、駅頭におけるチラシや啓発物品の配布にあわせて交通安全運動期間中の毎日、交通指導員が交通指導車で交通広報を実施して、地域の交通安全意識高揚を図るほか、自転車通学の認められている高校では春・秋の年2回相模原市南区内の公立高等学校通用門において自転車通学生に対する啓発を実施して、学生の交通安全意識高揚にも努めております。

最後に、相模原市南区は、相模の大風祭り・サマーわぁ!ニバル・大野もんじえ祭り・よさこいRANBU等のイベントのほか、市民マラソン大会や地域の祭礼時に主催者から交通指導員等による交通誘導依頼があり、誘導時には交通安全意識の高揚のため一声掛ける等、見える・見せる・聞こえる・聞かせる活動を強力に実施することで交通安全協会の存在を示すとともに交通事故防止意識の高揚に努め、1件でも悲惨な交通事故を減らしたいとの願いを叶えるべく頑張っているところです。

(小須田記)



飲酒運転の根絶

各地区交通安全協会ハンドルキーパー運動の紹介



厚木警察署管内交通安全協会



平塚市交通安全協会



鶴見交通安全協会



足柄交通安全協会

厚木警察署管内交通安全協会では本厚木駅周辺、平塚市交通安全協会では平塚駅前、鶴見交通安全協会では京急鶴見駅前、足柄交通安全協会では松田駅周辺の居酒屋等を戸別訪問してハンドルキーパー運動等を展開しました。

また、各地区交通安全協会でも、各駅前、歓楽街等において「飲酒運転撲滅」のためのハンドルキーパー運動を強力に推進し、飲酒運転の根絶を呼びかけました。

神奈川県交通安全協会のミニ白バイが3台運用になりました！

モンキー・ゴリラ新横浜1号・2号・3号

ミニ白バイは各種交通安全教育、各季の運動、交通安全運動キャンペーン等でご活用ください。

貸出の対象は、地区交通安全協会、県、県警察及び市町村、公私立の幼稚園、小中高等学校、町内会、自治会、老人会、交通安全母の会、企業等です。

貸出は無償で、貸出期間は、原則として1週間です。

※ 留意事項

ミニ白バイは損(傷)害保険に加入していません。

借受者がミニ白バイを破損した場合は修理費の負担をお願いする場合があります。

詳しくは神奈川県交通安全協会安全推進課にお問い合わせください。



交通事故の悲劇に学ぶ ⑫

●「交通犯罪とは」

W.Y 運送業(50代)

私は建設業で主に重機オペレーターをしていましたが、職場が不況となり、当時、中学、高校に通う3人の子供を育てるためにトラック運転手に転職しました。

家族のために「無事故で頑張ろう」と心に誓い、仕事を続けた結果「30年間無事故」を達成することができました。

しかし、その数か月後、私は思いもよらない大事件を起こしてしまいました。

当時私は毎日のように地方と関東圏を結ぶ区間を運転していました。

そして、その事件を起こした場所も月に数回運転している慣れた道でのことです。

私の車は目的地まで残り100メートル足らずの交差点に差し掛かり、その交差点を左折するため赤信号で停車していました。

その際、左の歩道に4台の自転車がいて信号が青になると、横断を始めました。

私は自転車の横断が終わるのを確認してから左折を始めましたが、その際にミラーと目視の両方で歩行者がいなかったことを確認したつもりでいました。

ところが、横断歩道を通過している途中で、何か異音が聞こえました。私はそれをトラックの荷台の積荷から出たものと思い、その場では停車しませんでした。

しかし、何となくその異音が気になり、交差点から約30メートル進んだところに少し広がった所があったので、そこでトラックを左に寄せ停車しました。

トラックから降車すると、「人のうめき声」のようなものがトラックの下から聞こえてきたので、下を覗き込みました。

道路には街路灯はなく、午後9時を過ぎていたので周囲は暗く、トラックの下に巻き込まれているのが人かどうか確認できませんでしたが、119番と110番通報をしました。

私の判断ミスから最悪の事態を招き、私は逮捕され、警察署に連行されました。

取り調べでは、事件当時の状況を聞かれましたが、私は「被害者の方がどこから来たか全く分からなかった」と答えました。

後日の調査で、被害者の方は私の左斜め後方をトラックとほぼ同じ速度で横断していたことが判明しました。

ミラーや目視で確認できない、いわゆる「車の死角」に入っていたのです。

プロドライバーとして長年働いてきた私に「死角で見えなかった」という言い訳は通用しません。

あの時、横断歩道の手前で一時停止をして、よく確認していれば、そして、異音に気付いた時に、直ぐに停車していれば、大切な人命を奪うことはなかったと思います。

事件現場は会社から遠く離れた場所でしたが、3日

間の勾留後に上司が迎えに来て帰宅することができました。

裁判が始まり1審で禁固1年の実刑判決を受けました。

住宅ローンもあり残された家族だけでは生活が出来なくなると思い、弁護士さんと相談して量刑不当で控訴しました。

しかし、その後、控訴は棄却され禁固1年の実刑が確定しました。

私は今まで一生懸命働いてきたのに、なぜ、という気持ちで一杯でした。

しかし、「控訴したこと」や、私が「一生懸命働いてきたこと」などは、大切な御祖母様の命を奪われた御遺族には何の関係ありません。私が人の命を奪った事実には変わりはないのです。

私は今までに謝罪文を二通書かせていただき、上司と共に3回御遺族の自宅に伺わせていただきました。

初めて伺った時に「お叱りの言葉」を受けましたが、それは当然のことだと思います。

もし、私が反対の立場であっても、加害者の弁明を聞くより先に、感情をぶつけていたと思います。

2回目からは自宅に入れていただき、お線香を上げられるようになりましたが、訪問の許可は上司を通していただいています。

私は今、市原刑務所に入所し、償いについてや、出所後の生活、罪との向き合い方、そして社会復帰に向けて色んなことを学んでいます。

刑務所での改善指導の中で、講師に招かれた御遺族の方から直接話を伺う機会があり「謝罪のための謝罪は望んでいない」ことが分かりました。

私はもっと、もっと、亡くなられた被害者の無念な気持ちや、御遺族の辛い心情を理解しなければ、本当の意味での謝罪はできないと思いました。今までの私は、会社の力を借りての謝罪でしたが、出所後は、これまで学んだ事を活かし、誠意を持った謝罪を行っていきます。

会社には多大なご迷惑をかけました。そして家族にも辛く悲しい思いをさせました。

出所後はもう二度とこんな辛い思いや迷惑をかけないと心に誓いました。

この誓いが、私にとって社会復帰の第一歩になると思います。

周りの人達の御尽力により示談は成立しましたが、人命は戻ってきません。

例え、罪名に「過失」がついたとしても、尊い人命を奪った事実には変わりはないのです。

皆様をお願いしたいことは、私の犯した罪を決して他人事とは思わず、慎重な運転を心掛けてください。お願いします。

～(一財)東京都交通安全協会編集発行
「贖いの日々(第58集)」から～

この人

214



(一財)神奈川交通安全協会
会長

こまつ のりあき
小松 範昭さん



令和5年6月、一般財団法人神奈川交通安全協会の会長になった小松範昭さんを紹介させていただきます。会長は祖父が興した工務店の三代目経営者でしたが、平成25年「生まれ育った地域に貢献したい」との思いから、一念発起して横浜市議会議員補欠選挙に立候補し、現在4期目の任期を精励中です。宮大工だった祖父に「多くの人が心をひとつにできる、神社・仏閣を建立することで地域に貢献したい」と仕事への思いを聞かされ育ったせいか、若い頃から地域の活動に関心を持ち色々と参加してきたそうです。交通安全協会との係わりも、地域の交通安全に少しでも貢献できれば、との思いからでした。

16年間副会長として活動し、今回会長に推挙され運営を担うことになりました。会長は、「市民

が安全に安心して生活できるまちづくりの実現」を信条としています。交通安全協会の活動も同様に、誰もが安全安心に道路を利用できるようにしたい。特に交通弱者である子供や高齢者が安心して利用できる社会にしたいとの思いを抱いています。そのためには、今まで以上に交通安全を呼びかける機会を増やし、交通安全意識の普及に努めたい。と、今後の方針を述べています。これからの地区交通安全協会は、会員の減少に加え収入証紙の廃止等、行先き不透明な状況ですが、小松会長の指揮の下、協力してくださる多くのボランティアの方とともに、地域の交通安全に貢献していきたいと思います。

(取材協力：(一財)神奈川交通安全協会)

こんにちは「伊勢原交通安全協会」です

51回大会“交通安全こども自転車神奈川県大会”に竹園小が3チーム出場！

昨年7月8日(土)に平沼記念体育館で公益財団法人 神奈川県交通安全協会と神奈川県警察の主催で実施され、伊勢原市立竹園小学校が出場しました。

この大会は、交通安全教育の効果を高めるため、自転車競技を通じて児童が交通安全に「興味と関心」を持ち その習慣化を図ることに事故防止の目的を達成しようとするもので、小学生が自転車の「安全な正しい乗り方」や「自転車の交通法令」などを習得して、“全国大会をめざして”、の熱戦が展開されました。児童が一人でも交通事故に遭わないように、校長先生やPTAのご協力で交通安全協会・地区指導員が大会前約1ヶ月間、空調のない体育館で 汗にまみれて3チーム12人の選手と共に猛特訓して市内10小学校の代表として健闘し 見事3位に入賞しました。

大会が終わった選手は「安全な自転車の乗り



方や安全マナー」の意識付けなどを全校生徒に披露・伝達し「夏休みの事故防止」を訴える絶好の機会を設け、好評でした。

飯塚会長は「小学生に交通ルールを教える場が少ない中、意味のある大会で今後も是非続けたい」と話す。第52回「交通安全こども自転車神奈川県大会」は令和6年6月22日(土)に茅ヶ崎地区の寒川町で開催されます。はじめての湘南地区での開催です。是非、湘南地区はもちろん県内各地から沢山の出場で大会を盛り上げて“こどもの自転車事故をゼロ”にしませんか？

〈板橋 記〉

地区交通安全協会の活動紹介

交通安全活動



港 北 新横浜駅前における
年末の交通事故防止運動キャンペーン



神 奈 川 東神奈川駅前における
年末の交通事故防止運動キャンペーン



大 船 大船駅における
年末飲酒運転根絶運動キャンペーン



都 筑 すみれが丘入口交差点における
飲酒運転根絶運動キャンペーン



三 浦 市 警察署前における年末の交通事故防止
運動キャンペーン「事故大根絶！」



逗 子 市 逗子駅前、逗子開成高校和太鼓部を招いての
年末の交通事故防止運動キャンペーン



田 浦 船越交差点における
年末の交通事故防止運動キャンペーン



瀬 谷 三ツ境駅前における
飲酒運転根絶運動キャンペーン

賛助会員の紹介

このコーナーでは(公財)神奈川県交通安全協会の交通安全活動に賛同し、賛助会員としてご協力をいただいている企業等を順次ご紹介しています(敬称略)。

- 株式会社エフエムエス 菊名ドライビングスクール ————— 横 浜 市 港 北 区
- 一般財団法人 かながわ水・エネルギーサービス ————— 相 模 原 市 中 央 区
- 医療法人 横浜未来ヘルスケアシステム ————— 横 浜 市 戸 塚 区

賛助会員入会のお願い

公益財団法人神奈川県交通安全協会では、交通事故のない安全で安心な交通社会を実現するため様々な交通安全事業を行っております。交通事故防止活動に賛同していただける「賛助会員」としての入会をお願いいたします。

インフォメーション

- 交通指導員連絡会議 ————— 3月1日(金) 県協会会館
- 優良職員表彰式・正副会長会議・第42回 理事会 ————— 3月6日(水) 県協会会館